

立川市の不登校の現状と対策について

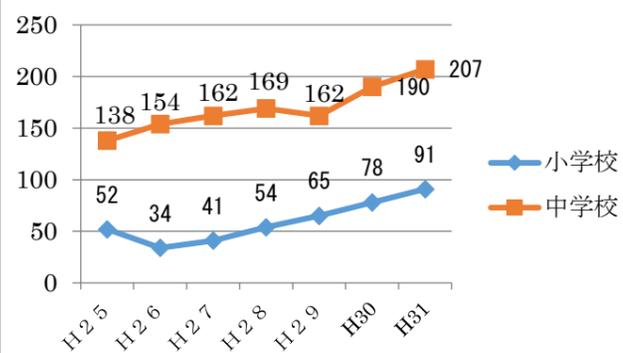
1 不登校のデータ（平成31年度）

不登校児童・生徒の出現率

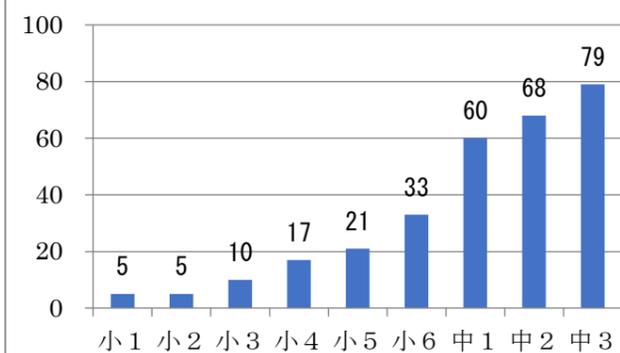
	立川市	都	国
小学校	1.05%	0.88%	0.83%
中学校	5.53%	4.76%	3.94%

※欠席30日以上を不登校としている。

不登校児童・生徒数の推移



不登校児童・生徒数の学年別内訳



立川市の不登校の主な要因

分類	小学校	中学校
いじめを除く友人関係の問題	18件	18件
学業の不振	9件	17件
生活のリズムの乱れ等	10件	33件
無気力、不安	56件	146件

主たる要因を一人1つ必ず選択及び主たるもの以外にも当てはまるものは一人2つまで選択可としている。

<不登校の現状>

- ・小、中学校ともに不登校出現率は高い。
- ・学年進行とともに増加する傾向がある。
- ・中学1年で急増する傾向がある。
- ・要因は原因の特定が難しいものが多い。

2 現在の立川市の取組

○児童・生徒、保護者への働きかけ

- ・担任や教員、家庭と子どもの支援員、
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
- ・学校経営支援主事、指導主事など

○関係機関との連携

- ・教育支援課による巡回相談、教育相談
- ・子ども家庭支援センター、生活福祉課ケースワーカー、民生児童委員との連携による家庭支援

○多様な居場所を確保

- ・各学校において、教室以外の居場所設置
- ・児童館や学習館
- ・適応指導教室「おおぞら」「たまがわ」

3 今後の立川市の方向性

教育支援センター構想（案）

- ①適応指導教室から教育支援センターへ
教育支援センター「おおぞら」「たまがわ」に名称変更
- ②支援の視点
「学校に登校する」という結果のみを目標とするのではなく、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会性を身に付け、将来的に社会的自立につながることを目指す支援をする。
- ③教育支援センターの役割
 - ・教育支援センター「おおぞら」「たまがわ」での、不登校児童・生徒への支援
 - ・タブレットPCを活用した、児童・生徒等への遠隔支援
 - ・学校と関係機関との連携の支援（コーディネーターとしての役割）
 - ・児童・生徒の家庭への支援

4 今後のスケジュール

令和2年		令和3年											令和4年					
11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	以降
要綱改正 規則改正		改名 教育支援センター 「おおぞら」「たまがわ」			教育支援センター構想の構築 プロジェクトチームによる協議				教育支援センター実現に向けた準備及び保護者への周知						教育支援センター実施			